

News Release

平成 20 年 4 月 3 日

## 真空加熱エリアでの潤滑油漏れについて

平成20年4月1日22時30分頃、当社北海道PCB廃棄物処理施設3階にある真空加熱装置の真空ポンプの潤滑油がステンレス製フレキシブルチューブから漏れているのが発見され、直ちに関連の設備を停止し漏洩を止めました。

漏洩した潤滑油は、真空ポンプを運転するためのものであり、PCBはほとんど含まれておりません。PCBの施設外への放出や作業員への影響はありません。

1. 北海道PCB廃棄物処理施設は、現在、操業を開始する前の段階で、操業に向けてPCB廃棄物を用いた試運転を行っており、4月1日には真空加熱分離設備、真空超音波洗浄設備、蒸留・排気処理設備等の試運転を実施していました。
2. 真空加熱装置は、気圧が低い状態で処理物からPCBを蒸発させて分離する設備です。平成 20 年4月1日22時30分頃、この装置の空気圧を下げるための真空ポンプの潤滑油抜き出し用のフレキシブルチューブから潤滑油が漏れているのを発見し、直ちに関連の設備を停止し漏洩を止めました。漏洩した潤滑油は約 1～2リットルで、拭き取り回収しました。漏れた油を分析した結果、PCBはほとんど含まれておりませんでした。
3. 真空ポンプからの排気ガスや真空加熱装置が設置されたエリアの換気は、それぞれ排気処理装置を通った後、活性炭を通して外部に排気されています。
4. この活性炭の手前で測定した結果では、PCBは検出されていません。また、施設内の空気中のPCB濃度にも異常ありません。
5. 事業所では、真空加熱分離設備の試運転を止めて潤滑油が漏れた原因を究明し、操業を開始するまでの間に、適切な再発防止措置を講じるとともに、類似箇所の点検を行う予定です。

### <連絡先>

日本環境安全事業株式会社北海道事業所

所長 油井 理 (0143 - 22 - 3111)

安全対策室長 中尾 修一 ( 同上 )